

いなづま

題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 龍文堂印刷株式会社



基坂イルミネーションと旧函館区公会堂

『でんき元気・提案型技術営業』 キャンペーン実施について

理事長 吉田 要

平成十四年もすでに四月を迎え、国内の景気低迷とはうらはらに本年は春が早く、当方もやはばやと雪も消え三月以降は温暖な気候が続いております。

組合員の皆様も春到来とともに仕事の方も忙しくなりつつあるものと推察を致しております。とは云え現下の不況風の中、例年に比べ建設関連業界は受注量が少なく従つて価格競争の激化や、低価格での押し付け等でいろいろと苦戦を強いられているものと思います。

一月の新年会でも申し述べましたが、不況の中民間の工事量が伸びないこの道南周辺の官庁工事特に建築関連の「ハコモノ」が一巡した情勢があり、私達の仕事量も減少の傾向にあります。これはわが道南地方や北海道に限らず全国的な事態です。

この様な情勢の中で私達の組合の上部組織である「全日電工連」ではこのキビシイ時代を乗り切るために将来に亘る業界の一つの在り方として昨年より「でんき元気・提案型技術営業」の推進を提唱しております。北海道工組でも傘下十一単協がこの件に関しても強力に推進方を決定し着々と進行しております。

一月末に当組合でも組合員皆様に希望者を募り第一回の説明会を行いました。更に四月九日と五月八日には参加者に対し電材メーカーの協力と指導を頂き乍ら本格的なキャンペーンを実施の予定であります。從来より私共電気工事屋は技術的に明るく又よく勉強して施工や実務面については完璧にこなして参りましたが、一方では提案型の営業面には大層不得手でありました。過去数十年の間には各電材メーカーより新製品の開発と共にいろいろな提案営業の提唱が数多くあつた筈ですが、私達はほんの目先の事に一杯でそれらを実行してきた人達は数少なかつたのではないかと考えます。これは我が国高度成長期からバブル時代に於いて民

間も官庁も目の前に仕事が沢山あって、これらをやつていけば何とか商売になつたと云う時代が永かつたせいもあつたのは確かであります。しかし今や時代は移り世の中の構造も意識も変わりつつあります。公共工事等の発注方式・入札方式も激変しました。私達は従来のやり方を根本的に考え直して時代に沿つた新しい「商売の道筋」を模索する必要に迫られております。この度の『でんき元気提案型技術営業』キャンペーントは、私達の手近な處から実行に移していく方策を作ると云う事が一つあります。

それは過去に工事を行つた施主（需用家）と将来的にも施工後に「顧客カルテ」を作成し、これに基づいて定期的に訪問して配線診断や経年劣化等による要修理個所の指摘、更に顧客のニーズに沿つた新商品や省エネやバリアフリー等の提案を行ない、その得意先を生涯顧客として少しでも仕事のパイを増やす事が目的であります。

詳細はキャンペーン研修会で各部門に亘り説明があるものと思いますが、このキャンペーンに参加されない組合員の皆様もこの度の全日電工連提唱により全国展開をしつつあるこの運動の主旨は、全国の電気業者の危機感の表れとして、少しでも私達の仕事を増やし時代の流れに遅れることなく「従来の殻」から脱し新しい分野に挑戦していく事が、私達を元気にし、このキビシイ時代を生き抜く道であると云う事を理解して頂きたいものと考えます。

組合員の皆様のご賛同とこの運動への積極的な参加を呼びかける次第であります。

不況の中とは云えこれからは工事の最盛期に入ります。無事故無災害でのご健斗をお祈り申し上げます。

役員会だより

第四回役員会

十三・九・二六

一、慶弔報告

- (1) 昭和電設工業株代表者病氣入院
- (2) 坂村電機商會代表者病氣入院

二、貸付報告

二社六〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 第九回大レクリエーションの実施結果について
- (2) 組合脱退申込みについて
- (3) 三興電機株承認（十三・八・三一）
- (4) 年末特別融資の実施について
- (5) 事務局職員に対する燃料手当の支給について

五、事業委員会事項

- (1) 全日電工連団体共済保険（住友）の配当金還付
- (2) 提案型技術営業キャンペーントの実施について

第五回役員会

十三・十・二二

一、貸付報告

三社一三〇万円

二、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

三、総務委員会事項

- (1) 北海道産業貢献賞（商工鉱業労働者（団体）の受賞について
- (2) 会計中間決算報告について
- (3) 支部運営費の支出について
- (4) 八雲支部（八雲・森・北桧山ブロック）、福島支部、江差支部に対する助成について

四、技術委員会事項

- (1) 第一種電気工事士試験受験準備講習会（学科）
- (2) 第二種電気工事士試験受験準備講習会（学科）
- (3) 第三種電気工事士試験受験準備講習会（学科）
- (4) 第四種電気工事士試験受験準備講習会（学科）

第六回役員会

十三・十一・十六

一、慶弔報告

- (1) 鈴木電気工業所代表者ご尊父逝去
- (2) 函館北辰電気株代表者ご尊父逝去

二、貸付報告

- (1) 会計中間監査報告について
- (2) 年末特別融資の申込みについて
- (3) 支部運営費の支出について
- (4) 八雲支部（八雲・森・北桧山ブロック）、福島支部、江差支部に対する助成について
- (5) 組合新年会、永年組合員・永年勤続者表彰式について
- (6) 工業組合理事長表彰候補者の推薦について
- (7) 事務局職員に対する冬期手当の支給について
- (8) 年末年始の業務取扱いについて

三、各支部報告並びに提案事項

- (1) 各支部それぞれ支部会議を開催
- (2) 光ファイバー講習開催に伴う受講希望者の調査について

四、総務委員会事項

- (1) 引込線工事における事故報告について
- (2) 光ファイバー講習開催に伴う受講希望者の調査について
- (3) 保守管理業務の加入促進について
- (4) 支部運営費の支出について

五、事業委員会事項

一、慶弔報告

第七回役員会

十三・十二・十八

の実施結果について
安全パトロールの実施結果について
第一種電気工事士試験受験準備講習会（技能）
の実施について

い な づ ま

組合行事

い な づ ま

組合員の異動

組合員の消息

一、(有)乙部電気工業所代表取締役斎藤福雄殿病氣入院	平成十三年
九月十九日 鈴木電気工業所代表者鈴木勝美殿	
ご尊父鈴木金之助殿ご逝去	
十一月三日 函館北辰電気株代表取締役渡辺靖	
十二月五日 夫殿ご尊父渡辺猛殿ご逝去	
スナハラ電気代表者砂原正昭殿ご	
尊父砂原三次郎殿ご逝去	
十二月十七日 日栄電気株代表取締役川村繁一殿	
ご母堂川村ヤス殿ご逝去	
十二月二十五日 株平松電気工務所代表取締役大谷	
治身殿ご尊父大谷隆男殿ご逝去	
平成十四年	
一月十一日 石川電気商会代表者石川光男殿ご	
母堂石川ミヨ殿ご逝去	
一月二〇日 館脇電気工業株代表取締役館脇涉	
殿ご母堂館脇セツ殿ご逝去	
二月二六日 (有)佐々木電気工業所代表取締役佐	
々木三男殿ご逝去	

◎ 脱退

一、三興電機(株)（中央支部）
平成十三年八月三一日

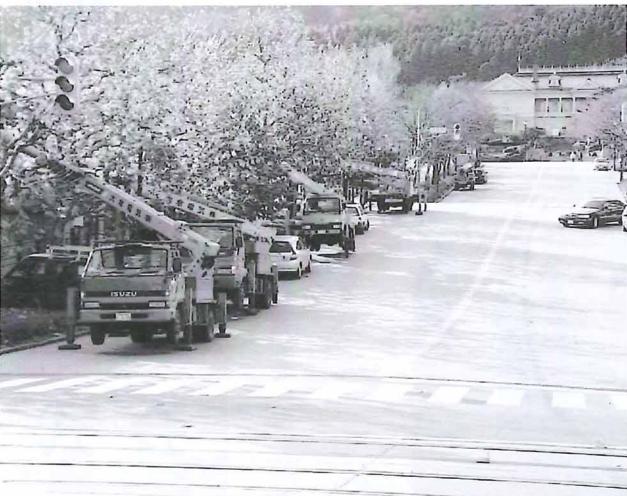
一、日本電機保全(株)（中央支部）
平成十三年十二月十七日

一、(有)函館ビデオ社（中央支部）
平成十四年二月二八日

一、(株)テクセル函館支社（赤川支部）
平成十四年三月三一日

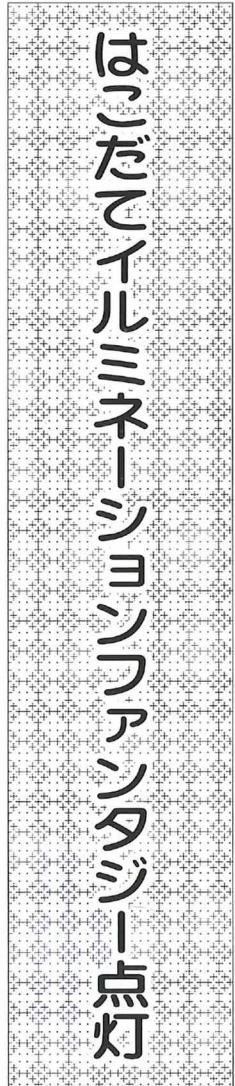


平成九年十二月に当組合設立五十周年記念事業として立上げた八幡坂イルミネーションが五年目を迎え、装いも新たに『はこだてイルミネーションファンタジー』として実行委員会が設けられ、はこだてクリスマスファンタジーや冬フェスティバルなどのイベントとの連携がはかられ従来の八幡坂の他に旧函病の坂・基坂にもイルミネーションが取り付けられました。電飾された木は基坂で三十二本電気容量で四十六kW、電球数にして約一万個が加えられました。工事は十一月十九日から着工し延べ七日間で終わら



不況の中市の冬季観光の振興や地域経済の活性化にも多分に貢献しているこの事業は来年以降も継続し又大きくなる予定があります。いつまでもボランティアと言う訳には行かないかもせんが形が変わつても組合として積極的に取り組んで行く所存ですので組合員の皆様の尚一層の御協力をお願いします。

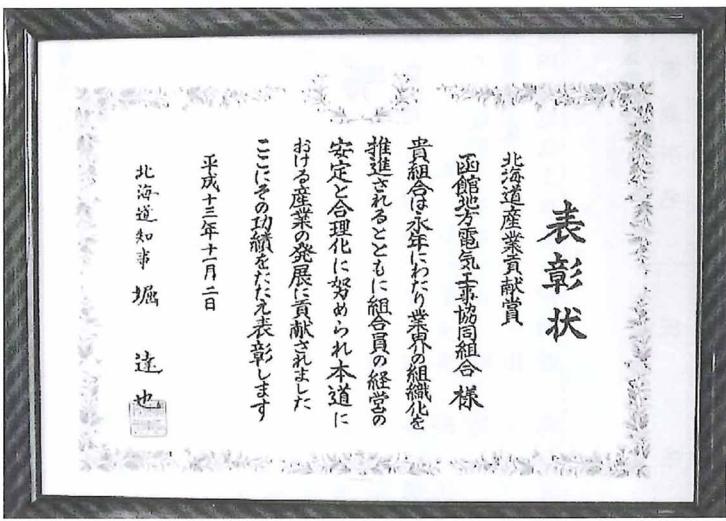
せる事が出来ました。暖かい日が多い様な時期ではありますましたが組合員並びに社員の皆様の御協力で無事十二月一日の点灯式に間に合わせる事が出来ました。紙上を借りて厚く御礼申し上げます。



北海道産業貢献賞受賞

平成十三年度北海道産業貢献賞の贈呈式が十一月二日に京王プラザ札幌において行なわれ、当組合が商工鉱業関係労働者（団体）として表彰を受けました。

これは、当組合の永年にわたる業界の組織化、組合員の経営の安定と合理化に対する功績が認められたもので、当日は吉田理事長が出席し晴れの栄誉に輝きました。



平成十三年度 永年勤続者表彰式
平成十四年新逐年会

平成十三年度永年組合員・永年勲続者表彰式ならびに平成十四年新年会が一月二十五日(金)ホテル函館ロイヤルにおいて井上博司函館市長(代理)ほか三十三名の来賓を迎えて彰彰者、組合員など約百八十人が出席して盛大に開催された。

始まりに物故者に全員で黙祷をささげたのち吉田理事長が挨拶に立ち「管内の公共建築関連の整備も一段落し、民間の設備投資も多くを望めず、相変わらず厳しい状況」とした上で永年組合員・永年勤続者にはこれまでの努力に感謝の言葉をのべ、今後も不変の命題である無事故無災害を第一に一層の経営安定に努める様呼び掛けた。

表彰式では青函電気株が組合加入五十年の永年組合員表彰を受賞、三十年で有沢田電工舍他九社が表彰された。永年勤続者では、函館拓北電業株の奥田正興氏が三十年表彰を受けたほか二十五年から十年まで二十八名が受賞、理事長より表彰状と記念品が渡された。

来賓祝辞では三・谷富夫函館市助役、沿嶋弥太郎函館商工会議所副会頭、飯島龍介北海道電力函館支店長の三氏からお祝いの言葉をいただき、受彰者を代表して勤続三十年表彰を受けた奥田氏が「これまでの事業主及び組合の支援に感謝し、これからも業界、組合、社業発展のため職務に精励することを誓う」と謝辞を述べた。

新年懇親会に移り、当組合の佐藤征三副理事長による祝杯で新年の祝宴が始まり、杯を合わせ懇親を深める中ステージでは多数の方が自慢の喉を披露、盛り上がりをみせるうちに午後八時すぎ、北海道電気資材卸



平成13年度 永年組合員・永年勤続者表彰式 平成14年新年会

平成十三年度永年組合員・
永年勤続者表彰名簿（敬称略）
(永年組合員)

事業所名										氏名	
勤続年数	勤続年数	勤続年数	勤続年数	勤続年数	勤続年数	勤続年数	勤続年数	勤続年数	勤続年数	勤続年数	勤続年数
(株)共同函館	(株)共同協勤	(株)函館勤	事業所名	事業所名							
松栄館	同拓	同電氣	30年	30年							
山電	拓北	電氣	年以	年以							
電氣	北	通	通	通	通	通	通	通	通	以上	以上
氣工	電	信	信	信	信	信	信	信	信	一	一名
工業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	興	一名
業(株)	右(株)	右(株)	右(株)	右(株)	右(株)	右(株)	右(株)	右(株)	右(株)	姓	姓
秋笠	小宮	川佐	西洪	佐上	小東	上	奥	田	正治	博	道
山原	崎村	藤谷	谷貫	林							
義彥	悦英	善富	孝	八和	二						
強夫	雄博	晃夫	道	名	治						



(株) 櫻北	日同	同タ	(有) 协	(株) 共	日同	(有) 同	同協	勤	事
松盛	興	マツ	沢同	大原	榮	興	中	続	業
北山		ツ	電田	電氣	電	北			所
幸電	電電	電機	電通	電氣	氣	電	浜	15	名
氣電		工機	工通	工氣	工	電	電	年	
電工	工氣	工業	工信	工業	業	業	信	以	
建業	(株) 右右	(株) 舍	(株) 業	以	(株) 工	(株) 右氣	右右	(株)	以
佐本	中村	佐	猖崎	岡崎	小	辻野	伊藤	河竹	石上
		々		野	上			石	氏
藤間瀬	上藤	谷野	田野	寺		口藤	谷内	原岡	栗
勝小	光茂和		紀		幸	洋仁		澄英	八
百					十				名
人合	則廣	男達	学仁	彦誠	名	雄孝	子人	昇力	子男

組合支部だより

この度、福島支部では支部活動の一環として、三月二十三日に管内四町（木古内町、知内町、福島町、松前町）の独居老人宅並びに身障者宅の電気設備無料点検を奉仕活動として実施致しました。

当日は、四町の組合員十四社十六名が分担してそれぞれの地区を担当し、約一一〇軒を点検した。

今回の活動では、各世帯の絶縁測定のほかコンセントやスイッチ周りなどの点検、切れた蛍光灯や電球の無料交換、照明器具の清掃、タコ足配線の改修を行い、漏電や感電のないよう補修致しました。

今回の奉仕活動は、老人の方々に大変喜んでいただけ、当支部では来年も続けていきたいと思います。

福島支部長 繁田憲宏

東支部研修旅行会

東支部では今年も新年会を兼ねて研修旅行会を実施した。三月十七日、十八日に組合員二十二名と事務局長の総勢二十二名の津軽半島一泊の研修旅行となりました。

当日、午前七時三十分に函館駅に集合、八時の海峡線に乗り込み青函トンネルを抜け、十時すぎ蟹田駅で下車、迎えのバスに乗り換えて金木町へ、途中十三潮流や鶴の舞橋を見学、昼近くに金木町へ到着 太宰治記念館「斜陽館」を見学の後昼食となりました。

午後は三昧縁会館を見学の後バスに乗り込み車窓から右側に岩木山を見ながらインゴ畑の中の周遊道路を岩木山神社へ向かいました。名前は聞いたことのある神社でしたが、この地方では歴史もあり信仰する人も大変多い神社だそうで参加者全員長い階段を登り商売

盛氣を以て参拝し、すがすがしい気分で宿泊地「巖温泉」へ向かいました。

巖温泉の場所は岩木山と白神山地の中間に位置し標高も千メートル近くある様でその昔獵師が発見し利用していたのが始まりの様です。旅館も三軒程でマタギ（獵師のこと）料理が名物だそうで夕食のマタギめしは大変美味しいものでした。温泉は直ぐ側に源泉があり皮膚病には効果があるそうで疾患のある参加者が二回湯につかつたら治つたと聞きました。もちろんスナックもカラオケも何もない大変静かな温泉ですが結構リピーターも多いと旅館の人が話していました。

夜の宴会はいつもの様に飲み放題、弘前から来たコンパニオン五名を入れての大宴会でした。第二次会は旅館内の別室にて十時まで、飲み疲れてのお開きとなりました。

翌日は朝九時に旅館をバスにて出発し弘前の西側を通り一路青森市内へと向かいました。青森駅で二時間の自由時間となり各自おみやげを買うなどし、午後二時すぎのJR海峡線7号にて函館へ、五時前駅に到着し解散となり無事今回の研修旅行を終えることとなりました。参加組合員の方々大変お疲れ様でした。

筆者ひとり言

斜陽館はちょっと青春時代を想い出しノスタルジックでした。また、お酒の好きな参加組合員は歩いている時と寝ている時以外はずつと飲んでいた様に思いましたが全体の酒の量は昨年よりも少し減りました。酔な



青 年 部 だ よ り

研 修 旅 行

青年部では二月十五日～十七日に参加者十五名で大阪への研修旅行を実施しました。

事前に部員に対し、研修旅行の内容についての希望を募った結果、今回は大阪の松下電器技術館を研修する事に決定しました。

当日十一時に函館空港に集合し、十一時五十分出発、機内食（空港で買った弁当）を食べ十四時関空到着。

バスにて、前もって予約している守口市の松下電器に向かい、技術館に十五時三十分到着、案内娘の説明付で約一時間最新の技術を見学しました。

IT、AV関係、家電、リサイクルなどを見て回り値段を聞いてピックリする連続で、特にリスニングゲルームは音響がすばらしく、値段が1千万と聞き驚きました。

3D映像も大変面白いものでした。最新のエレクトロニクス技術に触れ、これから未来はコンピューター無しではできないと実感させられました。

その後ホテル

にチェックイン

して一休みした

後、予約してい

た道頓堀の神楽

食堂串やに行き、

食べ飲み放題の

百分があつとい

う間にたち、腹

もいっぱいにな

り夜の道頓堀界

隈の探索に出ま
した。



J（ユニバーサルスタジオジャパン）に行き、ターミネーター2、ジュラシック・パークなど見ました。天気もよく二月にしては暖かく、土曜日のわりには空いていたので結構見て回ることが出来、スリルと感動があつて楽しい一日でした。後は、お土産を買って五時に集合ホテルに戻りました。

最終日は、NGK（なんばグランド花月）に行き漫才、喜劇を観ました。さすが本場、客もおもしろい。その後、十五時三十分発の函館行きに乗り全員無事函館に帰ってきました。

三日間とも天気に恵まれ、大変楽しい有意義な研修旅行となりました。

青年部副部長 伊東照勝

青年部HP開設のご案内

このたび函館青年部では、ホームページを作成しました。

昨年より青年部では、部員を対象にパソコン講習（ワード、エクセル、デジカメなど）を実施しておりましたが、札幌などでは既にHPを立ち上げており、当青年部としても独自で作成を試みることになり無事完成しました。

まだまだ未熟で、一般に公開できるレベルには至りませんが、これからもより良いHP作りに努力し、随時更新していくたいと思いますので、ぜひ一度お立ち寄り下さい。

このホームページを通じて、青年部の活動に対する理解、ご協力を頂ければ幸いです。

これからも青年部をよろしくお願ひいたします。

北海道電力株

内線工事会社研修会

平成十三年度内線工事会社研修会が二月十九日に組合会議室において午前・午後の二回実施され、延べ一八名が受講した。

当研修会は当組合が北電函館支店に要請し、直轄管内の内線会社実務担当者を対象に毎年実施しているもので、北電の各グループよりそれぞれ最近の状況等について説明があり、組合員側からも意見や要望が出されるなど有意義な研修会に終始した。

特に今年度は、引込線工事の標準工法変更の説明があつたため全員熱心に受講していた。



引込線工事士の認定講習・認定試験実施

平成十四年度引込線工事士の認定講習・認定試験が二月二七日に組合会議室において実施され、新たに四名の引込線工事士が誕生し、当組合の認定者は、一四八四名になりました。

本年度認定者の内訳は次のとおりです。

申請のみによる認定者 三名

試験合格による認定者 十一名

なお、引込線工事士には安全技能講習の受講が義務づけられており、更に五年（平成十四年より三年から五年に変更）ことの再講習を受けなければならない事になつております。正当な理由がなく受講を怠った場合は認定の取消しを受けますのでご注意願います。

第一種電気工事士試験受験準備講習会



(有)佐々木電気工業所代表
取締役佐々木三男殿は去る
二月二十六日七十六年の生涯を終えられました。佐々木氏は昭和十四年に弱冠一
五歳にて秋田県河辺郡河辺町の奥羽電灯㈱に入社、電

追悼記

厚くお礼申し上げます。

講師各位 若林 武氏（北電函館支店配電G）

福地 政弘氏（同右）

田井中 一則氏（同右）

笠谷 義孝氏（同右）

神谷 文博氏（同右）

中江不二樹氏（同右）

酒井 好一氏（三立電気㈱）

大鎌 哲雄氏（大鎌電気㈱）

五十嵐照夫氏（角五稜郭カスガ）

対馬豊四郎氏（㈱対馬電設）

編集後記

○早いもので雪の少ない暖冬と言われた冬も終わり本号が発刊される頃には例年より大分早い桜の季節になりました。

北海道の人間はやはり桜の咲くこの季節が待ち遠しいのでしょうか。又ゴルフ場のオープンが早まるのが嬉しい人もいるのでしょうか。いずれにしても長い冬が終わってこの季節を迎えると何となく浮き浮き気分になる人が多いのではないかでしょうか。

しかし年度が変わつても景気は良くなりません。最近のニュースを見ますと日本の場合は政治いや政治家も官僚も悪すぎる、地域のために利益誘導も必要でしょう。国家の為に改革も国際貢献も必要でしょう。その基になる資金は我々が血と汗と涙の結果である税金だと言うことを忘れてはいるのではないでしょうか。決して私腹を肥やしたり一部の人だけが利益に預かる事があつてはならないと思います。

腹立ち半分で書いてしまいましたが我々は業界が少しでも良くなる様に、業界が良くなるれば自分の会社も良くなるはずです。厳しい時代ですが組合員の皆様の御奮闘を祈ります。

○本文にも記載しましたイルミネーションファンタジーの撤去作業を三月一日・二日の二日間行ないました。

いつもながらボランティアに参加して下さいました組合員並びに社員の皆様、忙しい中を本当に有り難うございました。

今年は八幡坂が工事のためどの様になるのか解りませんが必ずどこかに点灯させると思いますので又の御協力をお願ひ申し上げます。

平成十三年度の第一種電気工事士試験は、筆記が十
月七日、技能が十二月九日に実施された。
当組合ではこれに先立ち、恒例の受験準備講習会を
北海道電力(株)函館支店の協力を得て左記の通り開催し
た。

○筆記講習 十月三日～五日（午前九時～午後五時）
○技能講習 十二月五日～七日（午前九時～午後五時）
受講者は筆記十八名、技能十一名で国家試験の結果合格率は筆記十七・八%、技能八一・八%で技能試験は全国平均（三四・三%）に比べて極めて高い合格率であった。

講師の皆様には大変ご多忙のことご協力を賜り、

優秀な技術と良心的な仕事で着実に業績を伸ばし、業界の指導者として卓越した手腕を發揮され、組合においても二十六年もの長きに亘り役員を務め、その間中渡島支部長として業界の発展に寄与されました。
故人の生前の功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りして追悼の記いたします。

